

## 会長あいさつ

# 食料およびエネルギーの 安定的確保は最優先の課題



全国町村会長  
北海道白糠町長

棚野 孝夫

私ども町村は、異なる気候風土や地域資源を活かしながら、国づくりの基本である農林水産業の振興に取り組み、一次産業を観光業や製造業等とともに地域振興の核として、我が国の食料やエネルギーの安全保障を支えてまいりました。

また、町村長の皆様方には、遠路ご参集いただき、心から感謝申し上げます。

いま、国際情勢の不安定化や急激な気候変動が、経済活動や国民の生活に大きな影響を及ぼしております。

とりわけ、我が国の食料やエネルギーの自給率が、先進諸国の中でも極めて低い水準にあることに對し、強い危機感のもと、食料やエネルギーの安定的な確保は最優先の課題であり、その役割を担うのは、地方、すなわち、町村であることは申し上げるまでもありません。

47名の都道府県町村会長、9226名の町村長の相互の連携を一層強固なものにし、様々な課題に対し一致結束し、積極果敢に取り組んでまいりたいと考えております。よろしくお願いを申し上げます。

本日このに、全国町村長大会を開催いたしましたところ、高市早苗内閣総理大臣はじめ御来賓各位には、政務ご多端の折にもかかわらず、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

私、本年7月、全国町村会長に就任いたしました北海道白糠町長の棚野でございます。

47名の都道府県町村会長、9226名の町村長の相互の連携を一層強固なものにし、様々な課題に対し一致結束し、積極果敢に取り組んでまいりたいと考えております。よろしくお願いを申し上げます。

あわせて、水源かん養、自然環境の保全など、国民生活に潤いと安らぎを与える重要な役割を、強い使命感を持ちながる扱い続けており、今後もこうした役割を果たしていくことがますます重要になると考へております。

そのためにも、国におかれましては、食料およびエネルギー自給率の大幅な向上と、それを担う農山漁村地域の振興発展、そして、国民意識の醸成を図るため、実効ある具体的な対策を講じていただきたく、本大会において、後ほど特別決議としてお諮りをいたします。

一方、その対応に急を要する課題として、今、全国各地域の市街地に相次いで出没しているクマへの対応があります。

町村では住民の生命を守るため様々な対策を講じておますが、個々の自治体での対応にも限界が来ているため、国の責任のもとで抜本的な対策を速やかに講じられるよう求めていゆといふであります。

さらには、自治体情報システムの標準化に係る運用経費等に対する確実な支援をはじめ、未来を担う子供たちのための教育環境の充実強化などについても、これまで、国に訴えてきたところであります。ただいま申し上げました課題のほかにも、人口減少・少子高齢化への対応をは

じめ防災対策の推進、地域医療や介護の提供体制の確保、さらには、農林水産業や観光業等の持続的発展と地域交通の堅持、暫定税率の見直しが議論される中の地方一般財源総額の確保など私たちは多くの課題を抱えており、その解決に向けても全力を尽くさなければなりません。

本日、<sup>1</sup>列席頂いております来賓の先生方には、我々町村長の思いを十分に受け止めていただき、課題解決に向け<sup>2</sup>尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私たち町村の個々の力は小さくとも、互いに協力し、待ち受けの困難に英智を結集し、一歩先を見据えながら様々な変化にスピード感を持って対応することが重要であります。

全国町村会としても、地域の切実な声をしつかりと受け止め訴えていくため、これからも、皆様とともに強力に行動して参ります。町村長の皆さん、今後とも、926町村が一致結束して、全力で取り組んでいこうではあります。

結びになりますが、本大会が所期の成果をおさめることが出来ますよう、皆様方の格別の<sup>3</sup>協力をお願い申し上げ、私の挨拶といたします。

